

若手教師は奮闘中！

新採用であっても、責任ある指導が求められる学校の現場。どのように課題をクリアしながら教師としてのキャリアを積んでいるのでしょうか。

司会進行
岡崎 一郎
 福井県教職員組合 執行委員



情報交換したり親睦を深める絶好の機会です。

牧野 初任者研修は小・中・高別々で、じっくり話す時間はないですからね。教科や支部を越えて集まるいい機会なので、ぜひ参加して欲しいです。

——教師を選んだきっかけや、今の状況を教えてください。

の宿題から見ても、授業前に済ませます。

牧野 華寿美さん
 県教組青年部書記次長、
 福井市清水北小学校3年生の担任。教師3年目。



木下 教師だった父の影響で、この道を選びました。また偶然にも小中高すべての教師を経験でき、役立っています。

牧野 私は給食時間が勝負。3分で食べて、その後カーッと丸つけて、残りはすべての休み時間をつぎ込んで終わらせます。トイレに行く時間も惜しいです。

牧野 自身、学校がとても楽しかったので、子どもたちにもそんな風になってもらいたいと思って教師になりました。「楽しい」「わかった」と言われると、本当に嬉しい。毎日子どもたちが笑顔で過ごせるように、奮闘しています。

木下 校務もありますし、教材準備の時間はいくらあっても足りないですね。

——大変なことはありますか？

木下 現在は新採用から3年間、初任者研修があります。3年目の今も年数回のレポートを提出しています。その次は5年目研修が待っています(笑)。

木下 友希さん
 県教組青年部部長。丹生郡朝日小学校3年生の担任。教師8年目。



木下 やはり授業の準備は大変ですね。教科書改訂のたびに、初めての単元や教材が出てくるので時間がかかります。

木下 3年間も校外研修があるのは痛いですがね。補欠の体制は大丈夫ですか？

牧野 私は母親でもないし、出会った子どもの数も限られているので、子どもたちの気持ちをちゃんと感じ取れているのが心配です。

牧野 私の学校はほぼ全員が担任も持っているので、管理職の先生にも時々入ってもらって何とか。ただ自習はみてもらっても、カリキュラムを元に戻すことは大変です。

——時間的にはどうですか？中学校などは、勤務時間が非常に長いと言われていますが。

——対象者が複数いる学校は大変ですね。何より研修で子どもたちの時間を取られるのが残念です。ところで仕事上の問題は、どうやって乗り越えていますか？

木下 小学校は部活やテスト作成はないのですが、空き時間がほとんどありません。提出した宿題を見る時間が取れないので、朝早く出勤し登校した子

——特に青年部の活動は、同年代で



親睦を深める中で情報交換も



ウエルカムセミナーで話し合い

※【ウエルカムセミナー&パーティー】 県教組の青年部主催で、採用1年目と、前年度参加できなかった2年目の教職員を招く。セミナーとパーティーの2部形式で、研修と交流の場を提供。先輩との交流も。